

令和3年度

事業計画及び予算書等

公益財団法人 倉敷考古館

令和3年度事業計画

- 1 遺物の蒐集及び展観 (定款 第四条の1)
 - 1) 収蔵する考古資料を常時展観できるようテーマ展を行う。
 - ・児童、学生向けの展示(学校カリキュラムを意識し学校利用の促進を図る)
 - ・倉敷の地元の歴史紹介(クラスター連携展、真備の応援、美観地区の紹介等)
 - ① 企画展 春「繊維の考古学(仮)」 改修工事と調整 4/29～6/15 (42日間)
 - ② 企画展 夏「動物の考古学(仮)」 7/2～9/26 (60日間)
 - ③ 特別展 秋「吉備の鬼(仮)」 10/2～12/5 (47日間)
 - ④ 企画展 冬「倉敷のお大師さま(仮)」 1/5～3/31 (64日間)
- 2 遺物の保管並びに保管の受託(定款 第四条の2)
 - 1) 収蔵する考古資料、文献資料のデータベース化。(継続)
 - 2) 考古資料修復、保存処理を施し、資料の保管体制整備に取り組む。(継続)
- 3 遺跡・遺物の調査及び研究(定款 第四条の3)
 - 1) 連携協定を締結している大学と協力して保有する資料の調査研究を進める。
 - ・岡山大学 写真、資料等借用
 - ・岡山理科大 福井洞窟 資料整理研究協力、相互資料借用
 - ・倉敷芸科大学 展示室のデジタルキャプション作成
 - ・就実大学 タブレット案内版作成
 - 2) 大学、研究機関からの資料調査に協力する。
- 4 考古学に関する印刷物の刊行(定款 四條の4)
 - 1) 考古館パンフレットのリニューアル
 - 2) 考古館解説の増刷
 - 3) 展覧会ごとに説明リーフレットを作成
- 5 考古学に関する集会、講演会(定款 第四条の5)
 - 1) 講演会、説明会、ワークショップなどを開催する、また講師派遣を行う。
 - 2) 大原美術館主催「チルドレンズアートミュージアム」ワークショップ開催
 - 3) 学校利用時の展示レクチャーの開催、遺跡案内等を行う。
- 6 その他目的を達成するために必要な事業(定款 第四条の6)
 - 1) 各大学から博物館実習を受け入れ人材育成に協力する。
 - 2) 倉敷市と連携しての日本遺産事業推進に協力する。

予 算 書

2021(令和3)年4月1日から2022(令和4)年3月31日まで

科 目	3年度予算案	2年度予算案	差 額	備 考
I 経常増益の部				
(1) 経常収益				
事業収益				
入館料	1,600,000	1,650,000	△ 50,000	
刊行物等収入	100,000	150,000	△ 50,000	
手数料収入	130,000	200,000	△ 70,000	
寄付金収入			0	
受取寄付金	3,305,000	4,900,000	△ 1,595,000	
補助金収入			0	
受取補助金	0	50,000	△ 50,000	
雑収益			0	
受取利息	0	0	0	
資料貸与料	505,000	4,850,000	△ 4,345,000	
雑収入	0	0	0	
経常収益計	5,640,000	11,800,000	△ 6,160,000	
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	0	5,840,000	△ 5,840,000	
福利厚生費	0	1,240,000	△ 1,240,000	
出向負担金	2,880,000	0	2,880,000	
旅費交通費	8,000	8,000	0	
通信運搬費	120,000	120,000	0	
什器備品費	10,000	0	10,000	
修繕費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
警備費	200,000	400,000	△ 200,000	
印刷製本費	300,000	400,000	△ 100,000	
諸謝金	0	0	0	
調査整理費	0	0	0	
リース料	600,000	696,000	△ 96,000	
減価償却費	47,200	48,000	△ 800	
雑費	120,000	224,000	△ 104,000	
クラスター事業費	10,000	240,000	△ 230,000	
管理費				
給料手当	0	1,460,000	△ 1,460,000	
福利厚生費	0	310,000	△ 310,000	
出向負担金	720,000	0	720,000	
旅費交通費	2,000	2,000	0	
通信運搬費	30,000	30,000	0	
消耗品費	140,000	200,000	△ 60,000	
光熱水料費	250,000	300,000	△ 50,000	
賃借料	0	0	0	
リース料	150,000	174,000	△ 24,000	
保険料	70,000	70,000	0	
図書新開代	0	0	0	
雑費	30,000	56,000	△ 26,000	
経常費用計	5,687,200	11,818,000	△ 6,130,800	
当期経常増減額	△ 47,200	△ 18,000	△ 29,200	
II 経常外増減の部				
1. 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
2. 経常外費用				
過年度減価償却費	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期増減額	△ 47,200	△ 18,000	△ 29,200	
一般正味財産期首残高	19,364,649	18,670,473	694,176	
一般正味財産期末残高	19,317,449	19,364,649	△ 47,200	

資金調達及び設備投資の見込みについて

- (1) 資金調達の見込みについて
 当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

	借入れの予定	なし	
事業番号	借入先	金額	用途

- (2) 設備投資の見込みについて
 当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

	設備投資の予定	なし	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の用途